教育施策の推進状況

（市長部局関係分）

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第１編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第１編　未来を担う心豊かで元気な人が育まれるまち

第４章　学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成

視点１　次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ

視点２　ＳＤＧｓ／ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点３　学習環境の整備・充実

視点４　社会教育施設の機能向上

視点５　青少年の問題行動や悩みへの対応

第５章　スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり

視点１　誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり

視点２　活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり

視点３　スポーツがしやすい環境づくり

第６章　郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり

視点１　まちの歴史や文化を守る・知る・活かす

視点２　文化芸術事業の充実

視点３　文化芸術を活用した新たな価値や多様性の創出

視点４　文化芸術活動への支援、環境づくり

成果指標の令和7年度実績値

施策	成果指標	現状値（R4年度）	目標値（R7年度）	実績値※（R7年度）	達成度（R7年度）
第1編第4章　学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成 **※点検・評価の対象**	地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	46.2%	50.0%	54.2%	108.4%
同第5章　スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり ※点検・評価の対象外	週1回以上、運動・スポーツを行っている市民の割合	39.6%	56.0%	43.9%	78.4%
同第6章　郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり ※点検・評価の対象外	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	47.3%	80.0%	53.4%	66.8%

※実績値（R7年度）は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による（18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、519人が回答）。

令和７年度重点事業

まちづくり総合プラン第１編		事 業 名	ページ
章	視点		
４	１	「高校生まちづくり部」活動推進事業	６７

令和７年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	【まちづくり総合プラン第１編第４章】学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成 （視点１）次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ 「高校生まちづくり部」活動推進事業（７２ページ参照）

目的

高校生等を中心とした概ね１８歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。

事業内容

市内８つの高校等を対象に参加者募集を行い、これまでのＯＢ・ＯＧを含めたメンバーで月１回程度活動を行います。専門家による講義やフィールドワーク、清掃ボランティア、各種イベントへの参加などを行い、まちづくりに必要な知識・経験を実践的に学びます。

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合	目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて90.0%以上を目指す。
	実績値（%）	100	85.7				
	達成度（%）	111.1	95.2				

取組実績

・市内５つの高校等から７人の高校生と２人のＯＢ・ＯＧが参加し、月１回程度の頻度で活動を行いました。
・昨年度に引き続き、まちづくりの基本的な考え方を学ぶため、専門家による講義を実施し、高校生のまちづくりへの理解を深めました。
・活動の初回では、専門家による講話と商店街周辺を周るフィールドワークを実施しました。講話では、直線的な課題解決ではなく、あえて「余計なこと」や「予期せぬ方向性」に目を向け、プロセスを楽しむことが創造的な「まちづくり」の源泉になることを学びました。
・フィールドワークでは市役所前から商店街を歩き、建物や看板、オブジェなどから時代や歴史を垣間見ることができ、大牟田について新たな気付きを得ることができました。
・清掃ボランティア活動「防災グリーンバード」へ参加し、地域に貢献する活動を体験するとともに、公共性や協働の意識を育みました。
・大牟田日本フィルの会と共同して、ともだちや絵本美術館でオータムコンサートを開催しました。高校生たちの「やりたいこと」を実現するために対象者や選曲、当日の進行に関する大牟田日本フィルの会との企画会議を行いました。当日は子どもから大人まで幅広い年代が来場し、良い雰囲気で無事に終えることができました。

決　算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額　500　千円 （次年度への繰越　千円）	250				250

問題点及び課題

・高校生の学業や学校行事等との両立を図りながら、活動の継続性を確保することが難しく、より柔軟な運営体制や日程調整が今後の課題です。
・部員の入れ替わりが毎年度生じるため、高校生の活動ノウハウや意思を継承する仕組み（マニュアル化・記録整備等）の構築が必要です。

今後の方向性（具体策）

・高校生の学校行事等に配慮した上で、高校生が参加しやすいスケジュールや活動規模での実施を図ります。
・活動内容や運営方法を記録、可視化し、円滑な運営ができる環境を整えます。
・本事業は、高校生自らが主体的に地域課題を捉え、企画・運営を行うプロセスを重視するものであり、Ｒ７年度以降も、伴走支援型の体制を維持しながら、高校生の主体性を一層引き出す活動へと発展させていきます。

評　価

事業実施後に行ったアンケートにおいて、「自分が地域のためにできることに取り組みたいと思いますか？」という問いに対し、回答者全員から「強く思う」または「思う」との回答があり、本事業の目的である「まちに貢献する気持ちや郷土愛の醸成」の一定の達成が図られました。今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。

施策名	【まちづくり総合プラン第１編第４章】 **学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成**

誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向け、ともに学び続け、自ら行動する担い手がはぐくまれるまちを目指します。

そのため、次世代を担う子どもたちが将来においての自己実現ができる取組、学びを通じて人々のつながりを作り出し、持続的な地域コミュニティを支える人づくりを進めます。

（視点１）次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて、自己肯定感を高めるとともに郷土愛の醸成を図ることで、将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくみます。また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの主体性を大切にしながらその成長を支えていけるよう取り組みます。

【主な事業】

〇子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕

（１）子ども交流体験活動事業〔公民館〕

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、子どもたちの体験活動講座を７９講座開催しました。

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）交流教育地域推進事業ふれあい共室

障害のある子どもと障害のない子どもが、ボランティアとレクリエーションなどの活動を通して交流しながら豊かな人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。

①回数

・事前研修会　　１回
・保護者との懇談会　１回
・活動　　８回（ふれあい夏祭り、秋のスポーツ大会、みかん狩り、クリスマス会等）

②延べ参加者（人）

・子ども　　１７５人
・ボランティア　　１９８人
・保護者（懇談会）　５９人

（３）子ども未来デッサン事業

小学校中・高学年（４～６年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をしていただき職業体験も実施しました。

Ｈ２６年度から２９年度までの４年間は、生涯学習課で実施しました。Ｈ３０年度からＲ２年度までは地区公民館事業として実施し、Ｒ３年度から再び生涯学習課で実施しています。また、Ｒ５年度から中学生の生徒向けの講座も実施しています。

①講座内容（小学４～６年生対象）

講座名	講　師	と　き	と こ ろ	受講者数
うどん職人	根来 周作	7 月 31 日（木）	本格手打うどん・そば 『ねごろ屋』	19 人
理学療法士	橋本 綾乃 松本 朋哉	8 月 5 日（火）	大牟田市立病院	15 人
物流を支える人	寶部 啓樹	R8 年 2 月 21 日（土）	大牟田運送株式会社 有明沿岸物流センター	10 人

②講座内容（中学生対象）

講座名	講　師	と　き	と こ ろ	受講者数
映像を制作する人	岩倉 宗一郎	10 月 26 日（日）	中央地区公民館	10 人

（４）通学合宿や子どもの居場所への支援

①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

ア　新規実施校区への支援

体制づくりや事業の周知を行い、地域団体による自主的な通学合宿の実施につなげるため、実施に向けた準備期間と位置付けるとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。Ｒ７年度は実施には至りませんでした。

イ　自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する１団体（明治小通学合宿実行委員会）に対して補助金の交付及び活動支援を行いました。

○明治小通学合宿

主　催　　明治小通学合宿実行委員会

と　き　　９月１７日（水）～９月２０日（土）（３泊４日）

ところ　　明治会館

参加者　　９人（４～６年生対象）

ボランティア　　実人数２４人（延べ１４８人）（地域住民等、保護者等）

区分	４年生		５年生		６年生		合計（人）	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
明治小通学合宿	2	3	0	1	3	0	5	4
合計（人）	5		1		3		9	

ウ　通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています（Ｒ７年度は実績なし）。

エ　今後の意向調査

各地域の実行委員会に対する、今後の通学合宿実施に係る意向調査については、Ｒ７年度は実施しませんでした。

②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

ア　子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

（ア）子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等１８団体（定期開設１８団体）に対して運営費の一部を補助しました。

・市補助金交付団体【定期開設】　１８団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月１回	21 年目
2	友・遊広場見守り隊	月２回	21 年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月１回	21 年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月１回	21 年目
5	みんなの広場羽山台世話人会	月２回	16 年目
6	大牟田市立平原小学校父母教師会	月１回	15 年目
7	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月１回	15 年目
8	高取校区子どもの居場所実行委員会	月１回	15 年目
9	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月４回	14 年目
10	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月１回	13 年目
11	大正こどもの居場所実行委員会	月１回	８年目
12	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月３回	６年目
13	みなと子どもの広場実行委員会	月 12 回	５年目
14	一般社団法人 umau. 大牟田支部じじっか・おおむた	月４回	３年目
15	天領校区子どもの居場所実行委員会	月４回	３年目
16	手鎌こどもの居場所あえーる♪	月３回	２年目
17	倉永子どもの居場所実行委員会	月１回	１年目
18	宿題お助け隊フレンド・シップ実行委員会	月１回	１年目

・自主運営等の団体数　５団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駅馬地区アンビシャス広場	週１回
2	勝立地区アンビシャス広場	月１回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	上官げんきもりもりハウス	月４回
5	手鎌わくわく広場	月１回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

・不定期開設運営等の団体数　２団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年２回
2	上内なかよし広場	年２回

イ　啓発活動

（ア）各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

（イ）子どもの居場所通信（第１～２号）の発行

（ウ）子ども会説明会での居場所啓発（４月６日（日））

ウ　子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

（ア）情報交換の開催（５月、１０月、３月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年３回開催し、延べ７２人が参加しました。

（イ）研修会の開催

と　き　　５月２６日（月）
ところ　　大牟田市市民活動多目的交流施設「えるる」
参加者　　２４人
テーマ　　「地域は子どもたちに何をしたらよいのか
　　～青少年アンビシャス運動の成果と反省点から考える～」
講　師　　藤田弘毅氏（福岡県アンビシャス広場連絡協議会　会長）

（ウ）体験活動（「わくわく子どもまつり」）の実施

①「第３回折り紙ヒコーキ大会　in　おおむた」の実施

と　き　１１月２３日（日・祝）
ところ　おおむたアリーナ（大牟田市総合体育館）
参加者　子ども　３９人　大人　５４人

②「第１６回わくわく！子どもまつり」の実施

と　き　　Ｒ８年２月２８日（土）
内　容　　「体験活動　＆　バザー」
ところ　　おおむたアリーナ（大牟田市総合体育館）
参加者　　子ども４５７人・保護者　３５０人
　　ボランティアスタッフ　　１３４人
　　高校生ボランティア　　７人
内　容　　ハートの手さげ作り、プラ板ストラップ作り、サッカーＰＫ戦、ミニボーリング、ぼうしのブローチ作り、プレーパーク、スポーツチャンバラ、リサイクル工作、お菓子釣り、折り紙でコマを作ろう、冒険パン、リリボン・マーケット、アイロンビーズで作品を作ろう、うまい棒射的、世界の遊び、切り株重さあて、竹ぼっくり、飲食バザーほか

（５）南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム

南筑後地域在住の中学生を対象に、子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、将来を担う次世代のリーダーとしての資質や社会性を身につけるための「南筑後地域未来のリーダー育成プログラム」を福岡県及び近隣自治体と合同で実施しました。

①参加自治体

大牟田市、大川市、みやま市、大木町

②日程、会場及び内容

ア　８月７日（木）～８日（金）日帰り　まいピア高田
　　開講式、オリエンテーション、講師による講義、グループワーク

イ　１０月１８日（土）～１９日（日）１泊２日　大川市ふれあいの家ほか
　　フィールドワーク、グループ発表

③参加対象者及び参加人数

南筑後地域在住の中学１～３年生２８人
内訳：大牟田市１５人、大川市５人、みやま市５人、大木町１人、福岡県２人

④プログラム内容

実施日	講　師（敬称略）		講座内容	場所
8月7日（木）	一般社団法人 OMUTA BRIDGE	菅原　知之 高口　恵美	ジュニアシティメーカーの取り組みについて	まいピア高田
8月8日（金）	株式会社 ビストロくるるん	松藤 富士子	施設見学＋講義「未来をつかむためのあきらめない気持ち」	ビストロくるるん
	株式会社 吉開のかまぼこ	林田　茉優	会社復活までの道のり	まいピア高田
10月18日（土）	フィールドワーク ※欄外参照			
10月19日（日）	－	－	グループ発表	大川市ふれあいの家

※フィールドワーク

■ ＮＰＯ法人小保・榎津 藩境のまち保存会　三宅　浩子 氏
■ 久留米絣　松枝家７代目　松枝　崇弘 氏
■ 武下農園株式会社　代表取締役　武下　浩紹 氏

●「高校生まちづくり部」活動推進事業〔生涯学習課〕（６７ページ参照）

（１）「高校生まちづくり部」の活動について

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法　　ポスター、チラシ、インスタグラム等
募集期間　　Ｒ７年７月～随時
応募者数　　７人（三池工業高等学校１人、明光学園高等学校１人、大牟田高等学校１人、有明工業高等専門学校３人、大牟田北高等学校１人）
学年　３年生：６人、２年生：１人

②企画会議・振り返り等開催

プレ　　６月１６日（月）企画会議（大牟田市役所職員会館）
定例会　　７月　３日（木）企画会議（大牟田市役所職員会館）
第１回　　８月１８日（月）フィールドワーク（大牟田駅・銀座通り商店街周辺等）
第２回　　９月　６日（土）グリーンバードのごみ拾い（イオンモール大牟田周辺）
定例会　　９月　８日（月）企画会議（大牟田市役所職員会館）
定例会　　９月２９日（月）企画会議（大牟田市役所職員会館）
定例会　　１０月　９日（木）企画会議（勝立地区公民館）
定例会　　１１月１０日（月）企画会議（生涯学習支援センター）
第３回　　１１月２２日（土）日本フィルオータムコンサートの実施（ともだちや絵本美術館）
　　Ｒ８年２月１４日（土）日本フィルハーモニー交響楽団本公演のボランティア（大牟田文化会館）
第４回　Ｒ８年３月　９日（月）修了式

③高校生まちづくり体験事業推進協議会

協議会開催　　第１回　　Ｒ８年３月２３日（月）

〇子どもの読書推進事業〔生涯学習課〕

Ｒ７年度は、子ども読書推進に係る広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組を行いました。

（１）ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組として、絵本と布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット（ブックスタートパック）を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、Ｒ７年度は４９２人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせの実演や赤ちゃんと絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」実施状況　（会場は市立図書館）

と　き	参　加　者
6 月 27 日（金）	6 組　（13 人）
6 月 28 日（土）	3 組　（12 人）
8 月 29 日（金）	4 組　（10 人）
8 月 30 日（土）	3 組　（　8 人）
10 月 24 日（金）	7 組　（15 人）
10 月 25 日（土）	7 組　（21 人）
12 月　5 日（金）	4 組　（ 8 人）
12 月　6 日（土）	5 組　（14 人）
R8 年　2 月 27 日（金）	2 組　（ 5 人）
R8 年　2 月 28 日（土）	4 組　（12 人）

（２）子ども読書推進啓発事業

①啓発チラシ作成・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント２０２５（指定管理者）

４月２３日（水）の子ども読書の日に合わせ、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

（内容等の詳細は、「社会教育施設等の状況　図書館」の「３　事業の実施状況」の「（１）必須事業」の「②行事」の「ア　イベント的事業」の表（１７８ページ）を参照）

③ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。（携帯電話用のページも毎月更新）。

④うちどくノートの作成・配布

Ｒ４年度から家庭での読書推進のため、読書記録を残すことが出来る「うちどくノート」を作成し、図書館で配布しています。また、学校等での活用の提案を含め、ホームページからもダウンロードし印刷ができるように掲載を行い、広く周知しています。

〇各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生１００年時代に向けた人づくりを進め

るため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として３２講座を開催しました。
（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びＰＴＡ連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

①子ども会活動支援事業

ア　ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と　き	内　容	ところ	参加者数
8月2日(土) ～3日(日)	危険予知訓練・レクリエーション・夕食バーベキュー	リフレスおおむた	７人
11月8日(土) ～9日(日)	応急処置講習・レクリエーション・夕食調理	リフレスおおむた	１０人
R8年 1月25日（日）	危険予知訓練・レクリエーション・昼食調理	手鎌地区公民館	８人

イ　親善交流大会（ドッヂビー大会、カルタ大会）

（ア）ドッヂビー大会

と　き　　９月１５日（月・祝）
ところ　　おおむたアリーナ
参加者　　４子ども会　４チーム　４８人

（イ）新年カルタ大会

と　き　　Ｒ８年１月１２日（月・祝）
ところ　　手鎌地区公民館
参加者　　４子ども会　９チーム　２７人

（ウ）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と　き　　４月６日（日）
ところ　　手鎌地区公民館
参加者　　２２子ども会　２３人
内　容　　子ども会の重要性や育成会の役割等
※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、２４団体が加入しました。

②ＰＴＡ活動支援事業

ア　広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

（ア）ＰＴＡ広報紙コンクールの実施

第４０回ＰＴＡ広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校ＰＴＡ連合会の共催により実施しました。作品は、Ｒ６年度発行の新聞を対象としました。

応募校数２４校（小学校１７校、中・特別支援学校７校）

表彰　大牟田市長賞：白川小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会
大牟田市教育委員会賞：
みなと小学校父母教師会、橘中学校父母教師会
大牟田市立小・中・特別支援学校ＰＴＡ連合会賞：
大牟田中央小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会
優秀賞：玉川小学校父母教師会、大正小学校父母教師会、
中友小学校父母教師会、松原中学校父母教師会

（イ）ＰＴＡ広報紙研修会の開催

内　容　　５月３０日（金）に生涯学習支援センターにおいて、明光学園高等学校美術コース情報メディアデザイン非常勤講師の馬場真帆氏を講師に招いて、講話「『ＰＴＡ広報紙の制作術』～読まれるための紙面を作るコツと技～」を開催し、企画、レイアウト、記事の書き方等、広報紙づくりの技術を学びました。

（ウ）ＰＴＡ連合会研修会実施の支援

と　き　　１１月２２日（土）

ところ　　天の原小学校　体育館

内　容　　講演　『子ども達の可能性をひらく関りと共有
～ジュニアシティメーカーの取組を通して～』
講師　西南女学院大学非常勤講師
一般社団法人 OMUTA BRIDGE 理事
高口　恵美氏　他高校生数名

〇家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を８講座開催しました。

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

①三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み～け）・月曜日開設

大人延べ利用者数	２５０人
子ども延べ利用者数	２６６人
延べ利用者数	５１６人
開設日数	２９日

②手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）・金曜日開設

大人延べ利用者数	３８２人
子ども延べ利用者数	４０９人
延べ利用者数	７９１人
開設日数	３１日

③ボランティアスキルアップ講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営となるよう受講生にはボランティアとしての心得を再認識してもらい、広場の更なる活性化を目指しました。三池地区公民館はじゃじゃり子み～け、手鎌地区公民館はれもんぐらすのボランティアスタッフを対象に合同でスキルアップ講座を実施しました。

（３）子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに､家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年３回（７月・１１月・３月）発行し、発行数は延べ２７，０００部でした。

〇わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、Ｒ７年度に実施した事業はありませんでした。

文化芸術分野は、大牟田子ども劇場による「子どもと文化が出会うまちづくり事業～世代を越えて楽しむ日本の文化との出会い～」を下記のとおり開催しました。

と　き	内　容	ところ	参加者数
11 月 16（日）	あそびの広場「あそびキング」 コマやけん玉などの昔あそびを体験	明治小学校体育館	102人
12 月 7 日(日)	「昔遊びの笑タイム」観劇 中国ゴマやベーゴマ、けん玉、まりつきなど、昔あそびの技の数々を鑑賞	大牟田文化会館小ホール	69 人
	「昔遊びの笑タイム」ワークショップ 観劇後、親子でコマやけん玉、あやとりなどの昔あそびに挑戦		63 人
R8 年 1 月 12 日（月・祝）	「まげすけさんとしゃべるどうぐ」昔の道具体験ワークショップ 舞台鑑賞前に、昔の道具についてのクイズ作成や、風呂敷や天秤棒を使用する体験を実施	駛馬地区公民館	38人
R8 年 1 月 21 日（水）	青年・大人対象の文化講座 劇団の役者から日本の伝統文化について学ぶ	中央地区公民館	15人
R8 年 1 月 25 日（日）	江戸時代のことを知る学習会 江戸時代についてクイズを交えながら解説し、江戸時代の暮らしの様子を学習	中央地区公民館	22人
R8 年 2 月 8 日（日）	「まげすけさんとしゃべるどうぐ」観劇 髪結いのまげすけさんと道具たちとのやりとりを描いた舞台鑑賞	大牟田文化会館小ホール	217人
	「まげすけさんとしゃべるどうぐ」アフタートーク 観劇後に 4 人の役者と親子で感想交流会		74人

〇文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第１編第６章・視点２の１０７～１０９ページを参照）

（視点２）ＳＤＧｓ／ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、ＳＤＧｓ／ＥＳＤの視点を持った取組を展開することで、自ら行動する意欲や地域で活動する力をはぐくむ「人づくり」、活動を進めるための「つながりづくり」、それにより地域が直面する課題を発見・共有し解決していく持続可能な「地域づくり」へとつなげます。

【主な事業】

〇生涯学習ボランティア登録派遣事業〔おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）生涯学習ボランティア登録派遣事業（愛称：まなばんかん）

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。Ｒ７年度も大型商業施設でのイベントを実施し、事業を広くＰＲしました。

①ボランティア登録・派遣状況　（R8.3.31 時点）

年度	区分	延べ登録件数（件）	延べ登録者数（人）	派遣回数（回）	派遣先の参加者数（延人数）	ボランティアの稼働率(%)
R5	個人	89	89	156	3,775	55.6
	団体	125	1,458	295	13,043	
	計	214	1,547	451	16,818	
R6	個人	84	84	151	5,339	51.8
	団体	119	1,390	285	14,445	
	計	203	1,474	436	19,784	
R7	個人	86	86	128	5,291	54.5
	団体	116	1,320	299	12,967	
	計	202	1,406	427	18,258	

②アンケート結果

ア　ボランティア登録者の意欲の高まり（学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい)･･･９３．３%(Ｒ６年度９５．８%)

イ　依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい）

･･･１００%（Ｒ６年度９９．６%)

①生涯学習ボランティア登録者説明会・交流会　６月７日（土）

生涯学習ボランティア登録者に対して、事業内容についての説明と登録者同士の交流を図るため説明会・交流会を開催しました。

ア　説明会内容　事業概要､活動時の心得、ボランティア活動保険、電子申請について

イ　交流会内容　少数の班に分かれて､ボランティア登録者同士の意見交換実施

②大型商業施設でのイベント開催　８月２３日(土)

生涯学習ボランティア登録派遣事業を広くＰＲするため、舞踊・フラダンス・マジック・音楽・歌など「見て聞いて楽しむ」ことができるイベントをイオンモール大牟田で開催しました。

③新規登録の呼びかけ

地域で活動している人等を対象に、好きなことや得意なこと、学んだ成果を活かして生涯学習ボランティアとして活動してもらうために、地区公民館で実施する「アクティブシニアデビュー塾」、健康づくり課主催の「食育アドバイザー講座」において事業の紹介とボランティア登録の呼びかけを行いました。

④周知・ＰＲ

ア　ボランティア登録者の紹介（「広報おおむた」奇数月巻末掲載）

イ　「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（２，５００部）の配布

ウ　You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介

エ　おおむたまちづくり推進協議会のインスタグラムにて情報を発信

〇地区公民館におけるＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）地域ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業

人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」、「つながり」をつくることができるようになるといったＥＳＤの視点を持った取組みを行うことで、身近なところから自分に関わりのある課題を発見し、その解決に向けて主体的・自発的に行動できる人材を発掘するとともに、地域住民同士のつながりづくり、さらには地域への愛着心をはぐくむことで、持続可能な地域づくりの担い手づくりを各校区において実施。Ｒ７年度は１４校区で２０講座を実施しました。

（２）学校ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業

地区公民館が、学校教育におけるＥＳＤの取組みに対して、地域の支援や連携が必要な事項についてコーディネートを行うことで、学校教育におけるＥＳＤの取組みを支援するとともに、学校との連携により、地域の担い手を発掘する事業を実施。Ｒ７年度は小学校７校で実施するとともに、地域の課題や社会とのつながり等について理解を深めてもらうことを目的に中央･勝立･駅馬地区公民館で近隣の中学校や高等学校への支援をしました。

〇人材育成・地域活動促進事業〔生涯学習課・公民館〕

地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ知識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。

学んだ成果を活かす活動の場や機会を、地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、４７事業を実施しました。

〇学習成果活用促進事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔健康づくり課・生涯学習課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動、地域活動の機会、さらには心と身体の健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために健康づくり課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」７講座を開催し、１２８人が受講しました。

講座終了後、６つの新規ボランティアグループが結成され４８人が入会し活動を続けています。

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）カヌーサポーター養成講座〔公民館〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発や、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合い、

世代間交流の促進を図る目的で「カヌーふれあい事業」を実施しており、ボランティア団体「はやめカヌーサポーター会」にはカヌー指導・サポートをお願いしています。「はやめカヌーサポーター会」の高齢化等に伴う人材不足を解消するために、カヌーの知識や技術を学ぶ養成講座を実施して加入促進を図っています。Ｒ７年度は５人が受講し、うち２人は活動を続けています。

（３）ボランティア団体支援事業〔公民館〕

７地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

（各事業の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（４）地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕（再掲）

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図ることを目指して実施しました。また、子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

（各事業の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（視点３）学習環境の整備・充実

様々な人が学習情報を入手しやすいよう、情報発信を工夫するとともに、対面だけではなく、オンラインを活用した学習の場を提供します。さらに、市民がいつでも、どこでも学習活動を行えるよう環境整備を図り、学んだ成果を社会に還元させる「知（学び）の循環」の仕組みづくりとともに、生涯学習、ボランティア活動、地域活動に参加してもらうような取組を促進します。

【主な事業】

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報紙やリーフレット、インターネットなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

（１）学習情報紙「マナカタ」の発行（Ｒ６年７月から発行開始、奇数月に年６回発行
１，０００部／回）
掲載記事件数３０件

（２）「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子２，５００部）
生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「おおむた知恵袋」及び市役所職員出前講座のメニュー表を１冊にまとめて発行しました。

（３）「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全１２回）

（４）その他（年間随時）
①市ホームページ、ＳＮＳ、「愛情ねっと」、YouTube を活用した動画配等による情報発信
②学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○多様な学習機会提供事業〔大牟田市生涯学習まちづくり推進会議・おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）市役所職員出前講座
市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数 （派遣回数）	派遣職員数 （市職員）	参加者数 （市民）
R5	123	97 回	175 人	2,962 人
R6	126	103 回	210 人	3,576 人
R7	129	120 回	244 人	3,795 人

（２）生涯学習ボランティア登録派遣事業
（視点２）「ＳＤＧｓ/ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（７７・７８ページを参照）を行いました。

（３）市民大学講座　　市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講　座　名	講　師	期日	場所	受講者
花粉は語る～花粉で読み解く地球の歴史～	有明工業高等専門学校 一般教育科 助教　竹本　仁美	11 月 6 日（木）	えるる	16 人
家族で知っておきたい乳がんのこと～40 歳からの検診のすすめ～	帝京大学福岡医療技術学部 診療放射線学科 助教　中村　舞	11 月 13 日（木）	えるる	18 人

いろいろな発酵食品について～目に見えない微生物のちから～	有明工業高等専門学校 創造工学科 環境・エネルギー工学系 准教授　出口　智昭	11 月 20 日（木）	えるる	27 人
あなた自身の「呼吸や心臓が止まった時」どうして欲しいですか？～救急搬送を基に「終活」を考えよう～	帝京大学福岡医療技術学部 医療技術学科 救急救命士コース 講師　伊藤　二郎	11 月 26 日（水）	えるる	26 人

（4）企業出前講座「おおむた知恵袋」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
R5	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS 九州、③㈱0.A.S、④㈲美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社、大牟田北営業部、⑥春日クリニック、⑦(合)REIWAN001、⑧㈱四郎國光、⑨㈲山田屋茶舗、⑩大牟田ガス㈱、⑪㈲宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、⑬ジブラルタル生命㈱、⑭㈱エム・ティ・ネット、⑮㈱リード、⑯安田生命保険相互会社、⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、㉓ありあけ不動産ネット協同組合、㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭 天翔苑、㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘㈲グリンピース磯浜、㉙アトリエ花むすび	55	30 回	698 人
R6	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS 九州、③㈱0.A.S、④㈲美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社、大牟田北営業部、⑥春日クリニック、⑦(合)REIWAN001、⑧㈱四郎國光、⑨㈲山田屋茶舗、⑩大牟田ガス㈱、⑪㈲宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、⑬ジブラルタル生命㈱、⑭㈱エム・ティ・ネット、⑮㈱リード、⑯安田生命保険相互会社、⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、㉓ありあけ不動産ネット協同組合、㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭 天翔苑、㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘㈲グリンピース磯浜、㉙アトリエ花むすび、㉚歩行整体 大牟田	62	33 回	677 人
R7	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS 九州、③㈱0.A.S、④㈲美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社大牟田北営業部、⑥春日クリニック、⑦(合)REIWAN001、⑧そうごう薬局、⑨㈲山田屋茶舗、⑩大牟田ガス㈱、⑪㈲宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、⑬ジブラルタル生命㈱、⑭ソフトバンク大牟田、⑮㈱リード、⑯そうごう薬局、⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、㉓ありあけ不動産ネット協同組合、㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭 天翔苑、㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘㈲グリンピース磯浜、㉙アトリエ 花むすび、㉚歩行整体 大牟田、㉛村尾在宅クリニック、㉜防衛省自衛隊、㉝渡邊直樹税理士事務所、㉞㈱エ―タイ、㉟里親支援センターOHANA 大牟田支部ふわり	67	57 回	2,350 人

（視点４）社会教育施設の機能向上

様々な人の学習活動・地域活動・ボランティア活動の支援を行うため、社会教育施設の今後の在り方を検討するとともに、施設の機能向上を進めます。

【主な事業】

〇つながる地域づくり事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）子どもサポーター養成講座

地域社会が協力して子どもや若者が安心して学び・成長できる環境を作るために、子どもや若者に関わる人を対象に講座を実施しました。

（講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）ｅスポーツを活用したつながる地域づくり事業

高校生を対象にｅスポーツを通じたチームビルディングを体験し、若者の地域での活躍促進を図るための講座や、ｅ スポーツを活用した地域間の交流及び社会参加の促進につなげるため他市とのオンライン交流大会を実施しました。

（講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

〇社会教育機能向上事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）公民館職員研修会（公民館）

地区公民館の職員を対象に、生成ＡＩ研修や、地域コミュニティ推進課との合同研修など職員のスキルアップを図ることを目的に、１０回の研修会を開催しました。

（２）社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で２回実施しました。

（３）新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を１回開催しました。

（４）新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ることで、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を１回開催しました。

〇地区公民館整備事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）各地区公民館の維持補修〔公民館〕

７地区公民館は既に建築から２０年以上経過し老朽化も進んでいますが､来館者が安心･安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

〇地域学習機会提供事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）子ども交流体験活動事業〔公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「子ども交流体験事業」の（１）子ども交流体験事業（６８ページ）を参照

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）家庭教育講座〔公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の（１）家庭教育講座（７５ページ）を参照

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（３）各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の（１）各世代に応じた学習活動支援事業（７３・７４ページ）を参照（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（４）高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（地域デビュー編・健康実践デビュー編）

〔生涯学習課・公民館・健康づくり課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域デビュー編」を７講座開催し、１２７人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティブシニアを育む「健康実践デビュー編」を７講座開催し、１１７人が受講しました。

講座終了後、１４の新規サークルが結成され１４５人が入会し活動を続けています。

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（５）公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

（各館の発行の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（６）読書推進事業〔公民館〕

公民館では新刊コーナーの設置、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いましたが、Ｒ５年度以降地区公民館の図書貸出冊数は減少傾向にあり、Ｒ７年度の合計は２９，３５０冊でした。

（各事業の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（７）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の（２）子育てふれあい広場の開設（７５ページ）を参照

（８）地区公民館文化祭〔公民館〕

７地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めています。

（７地区公民館の文化祭の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（９）展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

（展示コーナー活用事業の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（視点５）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導や環境浄化などの健全育成活動により、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、ＳＮＳに起因するいじめや依存防止のための適正利用や被害防止の啓発について、関係機関などとの連携を強化しながら取り組みます。

【主な事業】

○青少年健全育成事業〔生活安全推進課〕

（１）街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「ＯＭＵＴＡ少年よくし隊」として、大型店舗や繁華街、公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況　（延べ数）

区分／年度	実施回数	従事者数
R5	348 回	1,755 人
R6	366 回	1,777 人
R7	353 回	1,502 人

（※夜の青色パトカーによる街頭活動を含む）

②青色パトカー巡回活動概況（昼間のみ）　（延べ数）

区分／年度	実施回数	従事者数
R5	239 回	454 人
R6	242 回	466 人
R7	224 回	446 人

③指導概況（性別、学職別）　（単位：人）

区分／年度	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
R5	95	112	207	3	85	119	0	0	0	0	207
R6	96	70	166	7	23	136	0	0	0	0	166
R7	122	86	208	21	87	100	0	0	0	0	208

④行為別指導実数　（単位：人（上段）・％（下段））

区分／年度	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
R5	2	47	131	2	24	0	0	0	0	1	207
	1.0	22.7	63.2	1.0	11.6	0	0	0	0	0.5	100
R6	1	62	82	0	19	0	0	0	0	2	166
	0.6	37.3	49.4	0	11.5	0	0	0	0	1.2	100
R7	3	76	81	0	46	0	0	0	0	2	208
	1.4	36.5	39.0	0	22.1	0	0	0	0	1.0	100

※少年センターとしての時間の捉え方

夜間外出：～２０時　夜遊び：２０時～２２時　深夜徘徊：２２時以降

⑤指導した場所　（単位:人）

年度＼区分		ゲームセンター	カラオケ店等	大型店等	コンビニエンスストア	駅	路上	自宅等	寺院・神社	公園	海岸・河川	その他	合計	
R5	男子	6	0	19	0	0	33	0	2	23	0	12	95	207
	女子	0	0	80	2	0	4	0	2	22	0	2	112	
R6	男子	10	0	28	0	10	31	0	8	3	0	6	96	166
	女子	3	0	48	0	1	5	0	5	4	2	2	70	
R7	男子	0	0	10	0	0	56	0	4	32	14	6	122	208
	女子	2	0	34	0	0	22	0	1	27	0	0	86	

（２）有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

（３）相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、メールでの相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

なお、電話相談については、より相談しやすい体制を確保するため、Ｒ４年１月から福岡県教育委員会が２４時間３６５日実施する「子どもホットライン２４」に一本化し、周知啓発を図っています。

①相談件数　（単位：件）

区　分	年　度	家　族	本　人	その他	合　計
来所相談	R5	0	0	0	0（0）
	R6	0	0	0	0（0）
	R7	3	1	0	3（4）
メール相談	R5	0	0	0	0（0）
	R6	0	1	0	1（1）
	R7	1	1	0	2（2）

※（ ）内は実際に相談された人

②相談内容内訳　（単位：件）

年度＼区分	健康	学業	交友交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	1(1)	0	0	0	0	0	0	1(1)
R7	0	0	3	2	0	0	0	2	0	7(6)

※（ ）内は実際に相談された人

※１件に複数の相談内容を含む

（４）関係機関・団体等との連携活動

①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」に

あたる７月と「子ども・若者育成支援強調月間」の１１月を中心に次の行事を行いました。上記以外にも、関係機関からの要請に応じ、適宜活動を行っています。

ア　「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

薬物乱用防止の啓発ポスターを掲示しました。

と　き　　６月２０日（金）から７月１９日（土）

ところ　　えるる

イ　第７５回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

立ち上げ式等を行いました。

と　き　　７月１日（火）

ところ　　ゆめタウンおおむた　２階わくわく広場

ウ　第７３回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催しました。

と　き　　７月３日（木）

ところ　　文化会館　小ホール

エ　大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写５１点のほか、標語１０７点を展示しました。

と　き　　１１月２０日（木）～２８日（金）

ところ　　えるる　１階　展示コーナー

②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

その他

【主な事業】

〇社会教育委員の会議〔生涯学習課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

（１）会議の開催

第１回　と　き　７月２５日（金）１５時～１７時
　　ところ　大牟田市生涯学習支援センター　多目的室
　議　題　１　令和６年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和７年度事業計画（案）
　　２　令和６年度社会教育振興プランの進捗について
　　３　令和７年度社会教育・生涯学習事業計画について(協議)
　　４　市民協働部関係施設供用駐車場の整備について

第２回　と　き　１１月２５日（火）１０時～１２時
　　ところ　大牟田市生涯学習支援センター　多目的室
　報　告　１　令和７年度南筑後地区社会教育委員交流会について
　　２　令和７年度第５５回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会について
　　３　第７８回はたちの集いについて

第３回　と　き　Ｒ８年２月３日（火）１３時３０分～１５時３０分
　　ところ　大牟田市生涯学習支援センター　多目的室
　報　告　１　令和７年度第５５回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会について(報告)
　　２　令和７年度社会教育・生涯学習事業報告について（報告)
　　３　第７８回はたちの集いについて(報告)
　　４　大牟田文化会館及び大牟田市総合体育館のネーミングライツについて(報告)
　　５　社会教育委員の１年を振り返って

（２）委員研修

①令和７年度南筑後地区社会教育委員交流会

ａ講義　「現代社会において大切にしていきたい人権感覚」
　講師　南筑後教育事務所　人権・同和教育室　主任指導主事　松藤　勲

ｂ実践　「地域全体で子どもを育てる体制づくりと社会教育委員」
　講師　大川市教育委員会 生涯学習課 社会教育主事 松延 聡

ｃ交流　「対話で探ろう、これからの取組」
　講師　南筑後教育事務所社会教育室 社会教育主事 東 圭希

②令和７年度　筑後地区市町村社会教育委員研修会

ａ講話　「つながりをつくる人権教育」
　講師　北筑後教育事務所人権・同和教育室 牟田拡充 氏

ｂ実践　「ひとづくりがまちづくりにつながる！～自分が好き・学校が好き・南薫が好き～」
　講師　久留米市社会教育委員久留米市南薫校区まちづくり振興会 会長 田中 幹雄

ｃ演題　「私たちのまちは私たちがつくる！『好き』や『困った』をつなげてまちで生きる」
　講師　講師 合同会社シェアリング・ラーニング 共同代表 諏訪 玲子 氏

○はたちの集いの開催〔生涯学習課〕

成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第７８回はたちの集いの開催

※Ｒ４年度から成年年齢が１８歳に引き下げられたが、本市ではこれまでと同様に２０歳になった青年を対象に記念式典を開催しています。

と　き　Ｒ８年1月１１日（日）１５時～１６時

ところ　文化会館

内　容　大牟田市消防団員募集

アトラクション（司会：公募による式典対象者１人）

・大牟田高等学校吹奏楽部による演奏

・ありあけ新世高等学校ダンス部パフォーマンス

式典（司会：公募による式典対象者１人）

・国歌斉唱

・市民憲章唱和（市民憲章推進委員）

・誓いの言葉（公募による式典対象者２人）

・ボランティア協力団体等（市内高等学校及びガールスカウト福岡県第７団）

区 分	該当者数（人）			出席者（人）	出席率（%）
	男性	女性	合計		
R5 年度	471	439	910	589	64.7
R6 年度	395	429	824	604	73.3
R7 年度	371	390	761	572	75.2

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値（%）	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0%以上を目指す。［現状値:46.2%(R4 年度実績)］
	実績値（%）	54.1	54.2				
	達成度（%）	108.2	108.4				

【指標達成度に対する要因分析】

・「地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合」については、Ｒ６年度の５４．１%から０．１ポイントアップの５４．２%となり、目標を達成しました。目標達成の１つ目の要因は、市民への幅広い学習機会の提供を行うとともに、地域ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取組を行ったことで、学習活動の必要性や地域づくりに対する意識の醸成が図られたことが考えられます。また、２つ目の要因として学校ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業、子どもの居場所などの子どもたちに関わる取組をきっかけに、子どもたちのため、ひいては地域のために自ら取り組もうとする意識の変容がみられたことなどが、目標達成に貢献したものと考えられます。

【今後の方向性】

・地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた学習の機会を、地区公民館等の市民に身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の企画運営を行います。
・学習活動で身につけた知識や技術を地域に還元できる環境づくりを支援するとともに、さまざまな媒体を活用し学習情報を提供します。
・今後も地域と子どもたちが関わる事業を実施し、地域にとっては子どもたちが将来の地域の担い手であること、子どもたちは地域とのつながりを認識することで、地域への愛着を育み、子どもたちが将来的に地域のためにできることを実施しようとする機運の醸成を図ります。

施策名	【まちづくり総合プラン第１編第５章】 **スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり**

誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。

そのために、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しむことができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。

（視点１）誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり

子どもから高齢者、障害のある人、健康面に不安がある人や、日頃スポーツに親しみがない人などが気軽にスポーツに親しめる機会づくりを推進します。また、外出が困難な状況になっても、他の人と一緒に活動が実施できるよう、ＩＣＴを活用したスポーツの機会創出等に取り組みます。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（１）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、春・秋・新春の年３期に実施しました。

教　室　名	会　　場	指　導　者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10 回）			
ニコニコエアロ体操教室	総合体育館　アリーナ	坂井　加陽子	59
ソフトバレーボール教室	〃　　〃	バレーボール協会	19
にこにこ体操教室	〃　　剣道場	㈱Ｍ＆Ｍ	30
卓球教室	〃　　アリーナ	卓球協会	22
健美操教室	〃　　多目的ホール	古賀　巧	46
秋のスポーツ教室（10 回）			
ダンスフィットネス・ヨガ教室	総合体育館　　剣道場	早井　友美	53
ソフトテニス教室	〃　　アリーナ	ソフトテニス連盟	22
親子リズム体操教室	〃　　柔道場	ちゃいるどくらぶ	9(組)
バドミントン教室	〃　　アリーナ	バドミントン協会	29
健美操教室	〃　　多目的ホール	古賀　巧	53
新春スポーツ教室（10 回）			
３Ｂ体操教室	総合体育館　　剣道場	3B 体操協会	36
テニス教室	〃　　アリーナ	テニス協会	33
太極拳教室	〃　　〃	太極拳協会	22
にこにこ体操教室	〃　　剣道場	㈱Ｍ＆Ｍ	21
健美操教室	〃　　多目的ホール	古賀　巧	57

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学３～６年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、夏休み期間中にスポーツ教室を実施しました。（１人１種目）。

教　室　名	会　　場	指　導　者	参加者
ミニバスケットボール	総合体育館　　多目的ホール	バスケットボール協会	100
バドミントン	総合体育館　　アリーナ	バドミントン協会	59
ソフトバレーボール	〃　　〃	バレーボール協会	48

教　室　名	会　　場	指　導　者	参加者
卓球	〃　　〃	卓球協会	26
ソフトテニス	〃　　〃	ソフトテニス連盟	25
ソフトボール	緑地運動公園　　ソフトボール場	ソフトボール協会	28
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	51

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大　会　名	期　　日	会　　場	参加者
市民グラウンドゴルフ大会	4 月 20 日(日)	諏訪公園イベント広場	32
市民ソフトバレーボール大会	6 月 8 日(日)	総合体育館	91
市民女子フットベースボール大会	9 月 14 日(日)	緑地運動公園運動広場	119
市民健康マラソン大会	R8 年 1 月 18 日(日)	諏訪公園	1,025
延命公園周辺ウォーキング	R8 年 2 月 22 日(日)	延命公園周辺	13

〇地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

（１）地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング

期　日	集合場所	コ　ー　ス	参加者(人)
R8 年 3 月 8 日(日)	羽山台小学校	羽山台小学校～高田行宮跡～三池陣屋の眼鏡橋～大間城跡～羽山台小学校	26

②スロージョギング教室

期　日	場　所	内　容	参加者(人)
10 月 19 日(日)	総合体育館（会議室・柔道場）	スロージョギングの講義及び実技	18
11 月 22 日(土)	総合体育館（多目的ホール）	スロージョギングの実技	17

③ニュースポーツ体験教室

期　日	場　所	内　容	参加者(人)
11 月 8 日(土)	第二グラウンド	モルック	19

（２）スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では５５人のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

ア　大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員の資質向上を図ることを目的に研修会を実施しました。

期　日	場　所	研　修　内　容	参加者（人）
9月28日(日)	生涯学習支援センター 第二グラウンド	モルックについて	32

イ　スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

九州・福岡県の上部団体が主催する研修会等にスポーツ推進委員を派遣しました。

期　日	研　修　名　称	開催地	参加者（人）
6月22日(日)	福岡県初任者スポーツ推進委員研修会	福岡市	3
9月7日(日)	スポーツ推進委員スキルアップ研修会 （旧：中堅スポーツ推進委員研修会）	福岡市	1
R8年1月17日(土) ～18日（日）	九州地区スポーツ推進委員研究大会	那覇市	2

（3）スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運営）を行いました。

地域行事数	参加者(人)	内　容			
		企画	指導・助言	運営	その他
83	延べ8,123	53	60	71	2

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

（4）地域スポーツクラブ育成・支援

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、当該団体の役員会にオブザーバーとして関与しています。

設置団体：１団体（Ｈ１７年度～　右京ふれあい健康クラブ）

(右京ふれあい健康クラブ活動実績)

期　日	内　容	場　所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	天領小学校、 宅峰中学校	延べ768
【クラブ活動】	バドミントン部　（毎週火･土曜日、天領小学校、宅峰中学校） 大牟田Jrバレー　（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室　（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部　（毎週土曜日、天領小学校、三川地区公民館）		

〇子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

（1）親子運動セミナー（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの日常化を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡サッカースクールコーチによるボールを使用した運動などを行いました。

期日	内容	場所	参加者数
5 月 25 日(日)	子どもの体力測定、保護者セミナー	明治小学校	68 人（27 組）
6 月 8 日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	69 人（28 組）
6 月 15 日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	68 人（26 組）
11 月 23 日(日・祝)	親子で運動遊び	明治小学校	45 人（19 組）
12 月 21 日(日)	子どもの体力測定	明治小学校	36 人（14 組）

〇スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握し、その増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト、交流ドッジボール大会）を実施しました。また、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を発行し、その中で、スポーツ少年団への加入促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12 月 13 日(土)	体力テスト	総合体育館	16	219
R8 年 2 月 8 日(日)	交流ドッジボール大会	総合体育館	衆議院議員選挙のため中止	

スポーツ少年団の加入状況

区分　　年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
スポーツ少年団数	32	32	33
加入者数	453	475	469

〇おおむたっ子がんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

１８歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する際に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子がんばれ奨励金」を交付しました。

区　分		R5 年度	R6 年度	R7 年度
スポーツ	全国大会等出場者数	201 人	211 人	132 人
	交付額	603 千円	643 千円	396 千円
文化芸術	全国大会出場者数	185 人	135 人	136 人
	交付額	371 千円	298 千円	354 千円

（視点２）活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みづくりを推進します。また、スポーツ組織・団体の連携を促進するとともに、活動の活性化を図り、スポーツを通したまちづくりを推進します。

【主な事業・取組】

〇スポーツ組織・団体等連携促進事業〔スポーツ推進室〕

（１）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、Ｈ２年７月、スポーツを通した「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など、市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②おおむた市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図るために、２０大会を開催しました。

大　会　名	期　日	会　場	参加者(人)
大牟田市バレーボール選手権大会	4月6日（日）	総合体育館	200
太極拳合同発表会	4月27日（日）	まいピア高田	100
市民軟式野球大会	6月15日（日）～10月12日（日）	延命球場　他	180
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月1日（日）	有明カントリークラブ	157
おおむた弓道選手権大会	7月21日（月・祝）	宅峰中弓道場	100
大牟田市民バドミントン大会	8月17日（日）	総合体育館	320
大牟田市サッカー選手権大会	8月31日（日）	宮原中学校 他	90
大牟田市長杯ソフトテニス大会	8月31日（日）	緑地運動公園 他	254
市長杯ソフトボール大会	9月28日(日)～10月19日(日)	緑地運動公園	300
大牟田市民テニス大会	9月21日（日)・23日（火・祝）	緑地運動公園 他	107
大牟田市剣道選手権大会	10月5日（日）	総合体育館	145
おおむたクレー射撃大会	10月5日（日）	玉名クレー射撃	15
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月14日（火）	緑地運動公園	44
大牟田市長杯争奪ボウリング選手権大会	11月23日（日・祝）	大牟田Ｊボウル	32
大牟田駅伝競走大会	R8年1月11日（日）	諏訪公園	410
大牟田市民卓球大会	R8年2月22日（日）	総合体育館	77
おおむた市長杯アーチェリー大会	R8年3月22日（日）	総合体育館	11
大牟田地区柔道大会	R8年3月8日（日）	大牟田高等学校	105
バスケットボール総合選手権大	R8年3月7日（土）・20日（金・祝）	総合体育館	300
大牟田市ゲートボール選手権大	R8年3月7日（土）	旧勝立中グラウンド	32

（２）中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内　容	対象者数	負担金額（円）
運営負担金	－	350,000
九州・全国大会出場負担金	7	202,565
地区・県大会出場負担金	608	844,695
地区・県新人大会出場負担金	201	167,770

（３）スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しました。

と　き　１０月１２日（日）、１０月１３日（月・祝）

ところ　御大典記念グラウンド・総合体育館、諏訪公園イベント広場・多目的広場

主　管　スポーツ２０２５市民の祭典実行委員会

期　　日	内　　容	参加者(人)
10 月 12 日（日）	ア　開会式	2000
	イ　むかで競走、長靴とばし、少年団対抗リレー、小・中学生リレー	978
	ウ　なわとび競争	294
	エ　少年団対抗競技・ニュースポーツ	190
	オ　バザー・イベント	多数
10 月 13 日（月・祝）	ア　ソフトバレーボール大会	118
	イ　ミニサッカー大会	198
	ウ　グラウンドゴルフ大会	35

○競技スポーツ振興支援事業〔スポーツ推進室〕

（１）全九州都市対抗陸上競技大会の支援

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第７８回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と　　き　　４月１３日（日）

と こ ろ　　御大典記念グラウンド

主　　催　　九州陸上競技協会、ＮＰＯ法人大牟田市体育協会

共　　催　　大牟田市

主　　管　　福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後　　援　　朝日新聞社

参　　加　　４１郡市　参加者４８７

種　　目　　[男子の部]１００m、２００m、４００m、８００m、１,５００m、５,０００m、１１０mH、４００mH、４×１００mリレー、３,０００m障害、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投

[女子の部]１００m、２００m、４００m、８００m、１,５００m、３,０００m、１００mH、４００mH、４×１００mリレー、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投

[男女混合の部]４×４００mリレー

ジュニア種目［男子］１００m（中学生・高校生)、４×１００mリレー（中学生）

［女子］１００m（中学生・高校生)、４×１００mリレー（中学生）

区　分	1　位	2　位	3　位	4　位	5　位
総　合	福岡市	大牟田市	久留米市	合志市	大分市
男　子	福岡市	大牟田市	久留米市	佐賀市	宇城市
女　子	福岡市	久留米市	大牟田市	合志市	大分市

（２）県民スポーツ大会への選手団派遣

福岡県民スポーツ大会は、夏季大会、秋季大会、冬季大会の３大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しました。

Ｒ７年度の夏季大会及び秋季大会は、北九州地区・京築地区で開催され、夏季大会及び秋季大会を合わせた総合順位は８位でした。

①夏季大会　　開催日　８月１７日（日）

競　技　名	開　催　地	派遣人数（選手）	主　な　結　果（入　賞）
水泳	桃園市民プール	30	1位　高校生男子　50m自由形 2位　高校生混合　200mメドレーリレー 2位　少年の部女子　200mフリーリレー 2位　中学生女子　50m背泳ぎ 2位　小5・6男子　50m自由形 2位　小4以下女子　50m平泳ぎ 4位　高校生女子　50m背泳ぎ 5位　小5・6女子　50m自由形 5位　高校生男子　50mバタフライ 5位　少年の部男子　200mフリーリレー 5位　中学生混合　200mメドレーリレー 7位　高校生男子　50m自由形

②秋季大会　　開催日　９月２０日（土）・２１日（日）

競　技　名	開　催　地	派遣人数（選手）	主　な　結　果（1位～3位）
陸上競技	みやこ町	17	2位　青年男子 3位　一般男子
バスケットボール	北九州市	60	2位　青年女子
バレーボール	みやこ町、苅田町 行橋市、上毛町、吉富町	84	2位　青年女子 2位　壮年女子 3位　青年男子
ソフトテニス	北九州市	18	
卓球	豊前市	22	
バドミントン	北九州市	26	3位　壮年女子B
柔道	行橋市	10	3位　青年男子 3位　一般男子
剣道	行橋市	12	
弓道	北九州市	15	
ソフトボール	北九州市	18	1位　一般男子Ⅱ
テニス	北九州市	8	

③冬季大会(駅伝)　　開催日　１１月１６日（日）

競　技　名	会　場	成　績（総合の部）
第 12 回市町村対抗福岡駅伝	県営筑後広域公園周回コース （8 区間 25.7ｋｍ）	9 位（60 市町村中） タイム：1 時間 24 分 09 秒

（３）スポーツカレンダー等による大会・施設等の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行うことで、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

なお、今後は情報提供の手法を見直し、スポーツカレンダーの冊子印刷は行わず、市ホームページ等でスポーツ情報の発信をしていく予定です。

○広域スポーツ交流促進事業〔スポーツ推進室〕

（１）広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、大会の開催費用の一部を補助しました。

大　会　名	期　日	会　場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5 月 3 日(土・祝)	総合体育館　他	700
有明杯アーチェリー大会	5 月 18 日(日)	第二グラウンド	32
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8 月 2 日(土)・3 日(日)	諏訪公園 他	384
大蛇山卓球大会	8 月 31 日(日)	総合体育館	480
全九州高校秋季県大会	9月7日(日)・13日（土）・14日（日）	緑地運動公園 他	650
有明少年野球大会	10 月 13 日(月・祝)・18 日（土） 19 日（日)・25 日（土）	延命球場 他	1,000
2025 リレーフェス in Omuta	10 月 19 日(日)	御大典記念グラウンド	895
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	11 月 16 日(日)	緑地運動公園 他	192
大牟田オープン小学生バドミントン大会	12 月 20 日(土)	総合体育館	219
優勝弓争奪近県弓道大会	R8 年 3 月 15 日(日)	総合体育館	中止

（２）各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援の決定を行いました。

共催　１件　　後援　３５件（実質後援２８件、名義後援７件）

○スポーツツーリズム推進事業［スポーツ推進室］

（１）トップレベルのスポーツ大会等開催支援補助

おおむたアリーナ開館記念事業として開催された、トップレベルのスポーツ大会等の開催費用の一部を補助しました。

12 月 21 日(日)	【おおむたアリーナ開館記念】 体操競技模範演技会　並びに　大牟田市体操教室発表会

（２）東京２０２０オリンピック・パラリンピック継承事業

東京２０２０オリ・パラ事業継承大牟田市実行委員会は、Ｒ７年度をもって解散しました。

（視点３）スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽にスポーツができるよう、スポーツ施設の整備・充実、学校体育施設の開放など、多様なスポーツ活動の場を提供するとともに、指導者の育成やスポーツ情報等の提供など、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。

【主な事業・取組】

○スポーツ活動の場の整備・充実事業〔スポーツ推進室〕

（１）スポーツ施設の整備・改修等

本市は、延命球場、延命プール、御大典記念グラウンド等、多くのスポーツ施設を有していますが、Ｒ６年度に供用を開始した総合体育館を除き、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、大規模な補修、改修等工事を実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき、中・長期的な視点に立って改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう、施設整備に努めています。

Ｒ７年度は、御大典記念グラウンドの第３種公認検定の受検のための大規模改修を行いました。

（２）学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で、小・中・特別支援学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用団体	202	202	202
利用件数	11,570	11,965	11,898
利用人数(人)	169,139	181,947	169,474

○スポーツ活動を支える担い手づくり事業〔スポーツ推進室〕

（１）指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導を行うとともに、資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

期　日	場　所	研　修　内　容	参加者(人)
R8 年 2 月 27 日(金)	総合体育館　会議室	「小学生だからこそ行いたいトレーニング」	36

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを推進するに当たり、スポーツを通した健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を開催しました。

期　日	場　所	研　修　内　容	参加者(人)
R8 年 3 月 9 日(月)	総合体育館　会議室	講演「最近のスポーツと健康の関連について」	68

（２）表彰・奨励事業

①スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育・スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）を授与しま

した。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

【功労賞】

田中　正人	市体操協会の役員として、体操競技の普及・発展に寄与
松藤　秀樹	市陸上競技協会の役員として、陸上競技の普及・発展に寄与
木下　通	市ソフトテニス連盟の役員として、ソフトテニス競技の普及・発展に寄与
西田　吉博	市弓道連盟の役員として、弓道競技の普及・発展に寄与
堺　利彦	市スポーツ少年団の役員として、本市のスポーツ振興の普及・発展に寄与

【記録賞】

ア　最優秀賞

髙橋　南乃	①2025 年グランプリ・アッパーオーストリア ②2025 年全日本選抜柔道体重別選手権大会 ③令和 7 年度 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 ④第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	①女子個人 70kg 級 3 位 ②女子個人 70kg 級 3 位 ③女子個人 70kg 級 優勝 ④女子個人無差別級 優勝

イ　優秀賞

大牟田高等学校 柔道部（男子）	①第 97 回令和 7 年度金鷲旗高校柔道大会 ②第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	①団体戦　準優勝 ②団体戦　3 位
大牟田高等学校 柔道部（女子）	第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	団体戦　優勝
大牟田高等学校 駅伝部	第 75 回全国高等学校駅伝競走大会	準優勝 記録:2 時間 1 分 57 秒
永松　優音	第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	女子個人 52kg 級 3 位
南野　帆乃夏	第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	女子個人 63kg 級 3 位
平松　侍	第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	男子個人 60kg 級 3 位

ウ　奨励賞

宮辺　鼓太郎	第 28 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人 66kg 級 優勝
塩山　晴生	第 28 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人 73kg 級 優勝
中村　常一郎	第 28 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人 90kg 級 優勝
稲田　三彩	第 27 回九州ジュニア柔道体重別選手権大会	女子個人 48kg 級 優勝
河原　悠斗	第 56 回九州ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 81kg 級 優勝
森山　陽貴	第 56 回九州ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 73kg 級 優勝

〇総合体育館等整備事業［スポーツ推進室］

旧市民体育館はＳ４９年築で老朽化が進み、バリアフリーや耐震基準等に問題を抱えていました。

このため、Ｒ２年度に基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とする総合体育館を建設することとした基本設計を行い、Ｒ３年度には実施設計及び施工事業者を選定し、基本設計に基づいた実施設計を取りまとめました。

この実施設計に基づき、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、Ｒ４年度からＲ５年度にかけて総合体育館を建設し、Ｒ６年４月に開館しました。

Ｒ６年度には、旧市民体育館と旧第二市民体育館を解体し、Ｒ７年度には、総合体育館前に駐車場と、インクルーシブ遊具を備えた芝生広場を整備しました。

また、Ｒ８年４月１日からネーミングライツを導入し、愛称が「３３９おおむたアリーナ」に決定しました。（愛称使用期間：令和８年４月１日～令和１３年３月３１日）

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
週１回以上、運動・スポーツを行っている市民の割合	目標値（%）	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0	スポーツ推進計画に掲げる目標値を基に、毎年度２ポイントの向上を目指す。 ［現状値:39.6%(R4 年度実績)］
	実績値（%）	44.7	43.9				
	達成度（%）	82.8	78.4				

【指標達成度に対する要因分析】

・本市のスポーツ推進計画に掲げる､｢誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり｣､｢活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり｣､｢スポーツがしやすい環境づくり｣の３つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
・事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、各種スポーツ行事を開催するなど、各種スポーツ活動の機会を提供しました。
・成果指標については、Ｒ６年度４４．７％と比較して０．８ポイントの微減となりました。
・目標値の達成に向けて、引き続き各種関係団体等と連携し、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチが必要です。

【今後の方向性】

・目標値の達成に向けて、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチをかけていきます。具体的には、スポーツ・運動の持つ魅力や効果を発信することにより、興味・関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりを行います。
・市民の誰もがどこでも、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送るために、多様な団体等との連携のもと、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、スポーツ人口の増を図ります。
・Ｒ６年４月に開館した総合体育館は、子どもから高齢者まで、また、障害がある人もない人も、誰もが気軽に利用しやすい環境を整えました。健康づくり、体力づくりの拠点として、スポーツや運動を通じて人を健康に、まちを元気にする施設を目指して、十分な利活用を促進していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第１編第６章】 **郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり**

郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。

そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。

（視点１）まちの歴史や文化を守る・知る・活かす

三池炭鉱関連施設をはじめ、地域に残されている歴史遺産を適切に保存し、郷土の歴史や文化に触れ、遺産の魅力を再発見し、過去・現在・未来とのつながりについて理解を促すとともに、歴史遺産を地域づくりに活用する取組を充実します。

【主な事業】

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（１）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

②重要文化財「三池炭鉱宮原坑施設」の保存

Ｒ７年度は、宮原坑竪坑櫓地下空間への階段等整備や外柵の設置を行いました（文化庁補助事業)。

③大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにＨ１８年度に設置しました。

Ｒ７年度は国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」所有者から申請があり、古賀家住宅瓦屋根塗装工事を行ったほか、三井港倶楽部の外壁修理工事を実施しました。

（単位：千円）

R6 年度決算に伴う基金高　①	R7 年度中の増減額		R7 年度決算に伴う基金高①＋②－③
	積　立　額　②	取　崩　額　③	
35,777	141	25,430	10,488

○世界遺産・歴史遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（１）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツの啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全６年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数　約８００人

③環境美化活動の実施

ア　宮原坑駐車場への団体による花の植栽

駛馬校区まちづくり協議会、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会

イ　三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等

ＮＰＯ法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

④幼稚園・小学校・中学校・高校との協働

世界遺産学習に取り組む、はやめ幼稚園、駛馬小学校、宮原中学校の子どもたちが絵を描いた木製プランター（三池工業高校の土木科生徒が作成したもの）を、宮原坑に寄贈を受けました。

（２）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開」の一環として、官民協働で「宮原坑フェスタ」を実施しました。

実 施 日　　１１月３日（月・祝）１０時～１５時

場　　所　　宮原坑

内　　容　　ステージイベントや飲食ブースなどの催し

参加者数　　約５，３００人

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑は毎週月曜日及び年末年始を除き毎日公開し、三池港展望所は毎日公開（ガイドは土日曜、祝日のみ）、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

見学者数　　１６，５０４人（宮原坑）、６，１８９人（三池港展望所）、

１，２５２人（旧長崎税関三池税関支署）

③世界遺産登録１０周年事業の実施

ア　世界遺産登録記念給食の実施

三池エリアの構成自治体である大牟田市、熊本県荒尾市、宇城市の３市合同で、世界遺産を連想させる学校給食コラボを実施しました。

市内の全市立小・中学校と特別支援学校においては、三池炭鉱の石炭にちなんだ石炭ビーンズを提供しました。

イ　パネル展の実施

世界遺産登録１０周年を記念して、九州国立博物館でパネル展を開催し、ご当地キャラのパフォーマンスや世界遺産の魅力を語るトークイベントなどを実施しました。

実施期間　　９月２３日（火・祝）～１０月５日（日）

ウ　１０周年記念のつどいの開催

２０１５年に世界遺産に登録されて１０周年を迎えるにあたり、関係者や地域の方々、駛馬小学校をはじめとする児童生徒や学校関係者などに感謝を伝えるため、「世界文化遺産登録１０周年記念のつどい」を開催しました。

大牟田北高校書道部による書道パフォーマンスに始まり、功労者表彰や駛馬小学校６年生による世界遺産学習発表、「三池炭鉱・三池港を未来に伝える」と題したシンポジウムを行いました。

④世界遺産キッズアカデミーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産がある地元の小学校の児童を対象として、世界遺産の価値や魅力を伝えるオンライン講座を実施しました。講座で学んだことを各小学校が相互にオンラインで発表し、児童同士の交流を深めました（駛馬小学校６年生が参加）。

また、八幡エリア（北九州市・中間市）と三池エリア（大牟田市）の小学生が相互に訪問する「世界遺産エリア間交流ツアー」を初めて実施しました。

実 施 日

講　　座　　６月５日（木）、２０日（金）、７月３日（木）

発 表 会　　１１月２０日（木）
交流ツアー　　１１月１３日（木）、１２月２日（火）
参加者数　　約２００人

⑤世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」カードラリー２０２５の実施

世界文化遺産登録１０周年を記念し、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の主催により、本市を含む８県１１市に所在する世界遺産の構成資産、ガイダンス施設や関連施設を楽しみながらめぐるカードラリーを実施しました。

実 施 日　　７月１日（火）～９月３０日（火）

⑥宮原坑ライトアップ

日本赤十字社福岡県支部の依頼を受けて、期間限定で宮原坑を赤色にライトアップしました（本市ではＲ３年度から協力しており、Ｒ７年度で５回目）。

実 施 日　　５月１日（木）～８日（木）

⑦アクロス福岡でのパネル展・講座

世界遺産の価値や魅力を効果的に発信し、本市及び三池エリアの構成資産に対する理解増進、来訪促進を図ることを目的としたパネル展・講座を実施しました。

（パネル展）

期　　間　　アクロス福岡　５月５日（月・祝）～１１日（日）
福岡県庁　１０月１日（水）～１２月１２日（金）

場　　所　　アクロス福岡１階 コミュニケーションエリア、福岡県庁１１階 物産観光展示室「福岡よかもんひろば」

来場者数　　２６，７１８人

（講演会）

日　　時　　１０月１５日（水）、１１月６日（木）

場　　所　　福岡県庁１１階 物産観光展示室「福岡よかもんひろば」

※来場者数はカウントなし。

⑧「私のおおむた世界遺産」絵画・ポスターコンクールの実施

大牟田地方ユネスコ協会との共催で市内の小・中・高校に通う児童・生徒を対象とし、世界遺産を通し本市への愛着と誇りをより深めることを目的とした絵画・ポスターコンクールを実施しました。

募集期間　　７～９月

応募総数　　１８５点

⑨出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア　講師派遣・視察対応

講師派遣　　８件
視察対応　　４件

イ　各種事業への共催等の実施

後　　援　　３件

〇文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

（１）指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア　指定文化財地内除草清掃（潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地）、指定文化財定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ　国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行

いました。

（２）文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査

試掘・確認調査（国・県補助事業）

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが８９０件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは８件、本調査を行ったのは１件でした。

②文化財防火デー

ア　福岡県指定文化財「旧長崎税関三池税関支署」において、文化財防ぎょ訓練を実施しました。

実 施 日　　Ｒ８年1月２６日（月）

イ　文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ　県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

③文化財保護強調週間

所有者の協力を得て、５月と１１月に国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」を公開しました。

④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「岡天満宮祭礼行事」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況　三池カルタ・歴史資料館」（１７１～１７４ページ）を参照）

（３）文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

県指定文化財「湯谷柳川領境界石」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア　講師派遣・視察対応

講師派遣　６件　　視察対応　２件

イ　各種事業への共催等の実施

後援　２件

③三池カルタ・歴史資料館共催事業

ア　古代体験講座「勾玉つくり」

実 施 日　　８月１１日（月・祝）

場　　所　　カルタックスおおむた

参加者数　　４０人

イ　大牟田史跡めぐりウォーク-近代化遺産編-

実 施 日　Ｒ８年２月２２日（日）

参加者数　１４人

④大牟田古墳カードの再版・配布

大牟田古墳カード３種（潜塚古墳・黒崎観世音塚古墳・萩ノ尾古墳）各５００枚を再版し、各古墳の見学者に配布しました。

【配布場所】
・潜塚古墳カード：駛馬天満宮社務所
・黒崎観世音塚古墳カード：三池カルタ・歴史資料館
・萩ノ尾古墳カード：フードショップヒラヤマ

（視点２）文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもや若者が文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実に努めます。

【主な事業】

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

（１）まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数　　２４件

学校名	ジャンル	派遣団体	と　き
駛馬小学校	美術（押し花）	花みずき会	6 月 9 日(月)
中友小学校	文学	おはなしの森	6 月 20 日（金）
駛馬小学校	美術（押し花）	花みずき会	7 月 7 日(月)
中友小学校	美術	炭都国際交流芸術祭 in 大牟田実行委員会	7 月 7 日(月)
駛馬小学校	日本舞踊	大牟田みやび舞踊の会	9 月 8 日(月)
中友小学校	美術（押し花）	花みずき会	9 月 8 日(月)
手鎌小学校	美術	炭都国際交流芸術祭 in 大牟田実行委員会	9 月 8 日(月)
駛馬小学校	美術（書道）	大牟田美術協会（書道部）	9 月 22 日(月)
宅峰中学校ほしぞら分校	音楽	大牟田音楽家協会	10 月 20 日(月)
倉永小学校	美術	炭都国際交流芸術祭 in 大牟田実行委員会	11 月 10 日(月)
大正小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11 月 10 日(月)
倉永小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	11 月 17 日(月)
三池小学校	音楽	吹奏楽団大牟田奏友会	11 月 18 日(火)
大牟田中央小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12 月 5 日(金)
手鎌小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	12 月 8 日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	12 月 8 日(月)
玉川小学校	美術（押し花）	花みずき会	12 月 8 日(月)
みなと小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12 月 12 日(金)
倉永小学校	美術（押し花）	花みずき会	12 月 15 日(月)
吉野小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12 月 18 日(木)

学校名	ジャンル	派遣団体	と　き
倉永小学校	華道	大牟田文化華道連盟	12 月 22 日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	R8 年 1 月 19 日(月)
銀水小学校	美術（押し花）	花みずき会	R8 年 2 月 9 日(月)
羽山台小学校	華道	大牟田文化華道連盟	R8 年 2 月 16 日(月)

過去の実績

分野／年度	R4	R5	R6	R7
押し花	6	6	7	6
書道	0	1	1	1
華道	1	4	4	2
茶道	4	5	6	4
音楽	4	5	4	6
三曲	2	2	0	0
箏・三絃・尺八	1	1	1	0
美術	0	0	1	4
文学	0	0	1	1
合計	18	24	25	24

（２）日本フィルハーモニー交響楽団との推進協定に基づいた取組

本市と公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団が締結する推進協定に基づき、日本フィルハーモニー交響楽団大牟田公演において、本市の小・中・特別支援学校の児童生徒の専用席(おおむた未来応援シート)を確保し、次世代を担う子どもたちに対して鑑賞の機会を提供しました。また、アンサンブルコンサートも実施しました。

年度等／取組		おおむた未来応援シートの設置	アンサンブルコンサート
R5	とき	R6 年 2 月 11 日（日・祝）	R5 年 12 月 13 日（水）
	ところ	文化会館	歴木中学校
	参加者	159 人	300 人
R6	とき	R7 年 2 月 9 日（日）	R6 年 11 月 14 日（木）
	ところ	文化会館	天の原小学校
	参加者	173 人	202 人
R7	とき	R8 年 2 月 14 日（土）	R7 年 11 月 21 日（金）
	ところ	文化会館	白川小学校
	参加者	173 人	293 人

（３）子ども・若者の感性を育む文化芸術事業（新規）

大牟田市文化振興財団主催のこども音劇「星の王子さま」において、子ども・若者の感性を育む文化芸術事業実行委員会が共催し、大人気声優の梶裕貴さん等が出演するコンサートを開催するとともに、出演俳優による子ども向けの演劇ワークショップを実施しました。

また、大牟田市内と有明定住自立圏域内の小学生の無料招待枠を設け、親子で気軽に鑑賞できる機会を創出しました。

と　き　Ｒ８年２月２８日（土）

ところ　大牟田文化会館大ホール(ワークショップは１階リハーサル室)

観覧者　９０５人

無料招待枠観覧者　１９５人

ワークショップ参加者　１５人（小学１年生～高校３年生）

〇まちなか文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

（１）本市の特色を活かした文化芸術事業

大牟田押し花の会が主催する「押し花アートフェスタ」において、学童保育所での押し花ワークショップの開催支援や.サポートスタッフとなる高校生ボランティアの依頼､学校へのチラシ振分けや広報周知など後方支援を実施しました。

（２）大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数　　１８件

入 場 者 数　　７，８０７人

事業名	主管団体名	と　き	ところ	入場者数（人）
二流派合同茶会	大牟田茶道連盟	4 月 20 日（日）	文化会館展示室和研修室	246
第 72 回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	5 月 13 日（火）～5 月 18 日（日）	文化会館展示室他	455
SPROUT DANCE SHOW Vol.19	大牟田ストリートダンス協会	6 月 15 日（日）	文化会館大ホール	1,200
大牟田能楽会 素謡･囃子の会	大牟田能楽会	7 月 13 日（日）	文化会館小ホール	60
第 42 回大牟田市民音楽フェスティバル 2025 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会（大牟田合唱連盟）	7 月 27 日（日）	文化会館大ホール	603
東バレエスタジオ　サマーバレエコンサート（第 12 回勉強会）	大牟田バレエ協会	8 月 24 日（日）	大牟田ハイツテラス	440
大牟田押花フェスタ 2025	大牟田押花の会	9 月 18 日（木）～9 月 21 日（日）	文化会館展示室	342
第 3 回舞台芸能合同発表会	大牟田民舞協会 日本舞踊　幸若流	9 月 28 日（日）	文化会館小ホール	450
第 74 回大牟田美術展 前期:洋画、彫刻、写真、陶芸 後期:日本画、書道、染色	大牟田美術協会	前期 9 月 30 日（火）～10 月 5 日（日） 後期 10 月 10 日(金)～10 月 16 日（木）	文化会館展示室他	1479

事業名	主管団体名	と　き	ところ	入場者数（人）
歌謡フェスティバル2025	有明歌謡連盟	10月12日（日）	文化会館小ホール	483
俳句大会	大牟田俳句連合会	10月31日（金）	文化会館研修室	15
三曲・民謡演奏会	大牟田三曲協会	10月19日（日）	文化会館小ホール	160
クラシックギターの集い 大牟田クラシックギター愛好会 第11回定期演奏会	大牟田クラシックギター愛好会	10月25日（土）	文化会館小ホール	437
「ふるさと大牟田の歴史と文化」2025	三池史談会	11月16日（日）	三池カルタ・歴史資料館	33
各流派合同　日本舞踊の会	大牟田日本舞踊連盟	11月16日（日）	文化会館小ホール	384
アロハ大牟田フラフェスティバル	大牟田ハワイアンフラ愛好会	11月29日（土）	文化会館小ホール	235
50周年華道展	大牟田文化華道連盟	R8年2月7日（土）～2月8日（日）	文化会館展示室	585
公募事業(障害のある人の発表枠)第2回障害のある人の文化芸術祭	大牟田市障害者協議会	R8年3月28（土）	文化会館小ホール	200

（3）身近な空間を活用した学びと文化の発表事業

文化施設のみならず、まちなかや店舗などの身近な日常生活の中で気軽に文化芸術に触れあえる機会を創出するとともに、文化芸術活動者の発表の機会を提供しました。

場所	内容（出演者）	とき	参加者数（人）
イオンモール大牟田	大牟田美術協会　会員作品展	5月15日（木）～9月17日（水）	－
	青々水彩画協会　作品展	10月2日（木）～R8年2月25日(水)	－
	ピアノ、チェロ演奏（オータムコンサート実行委員会）	10月31日（金）	60
道の駅「おおむた」花ぷらす館	収穫祭ミニコンサート（大牟田音楽家協会）	10月25日（土）、26日（日）	100
大牟田市役所本館前	オームタ☆イルミナーレ点灯式 クワイアチャイム演奏(明光学園高等学校)	12月5日（金）	100
	オームタ☆イルミナーレ点灯式 バンド演奏(帝京大学軽音楽サークル)	12月5日（金）	100
	市庁舎前ライブ(204Live!!実行委員会　バンド演奏)	R8年3月28日(土)	50
大牟田市議会議場	議場コンサート（大牟田音楽堂　バイオリン・ピアノ演奏）	R8年3月28日(土)	40
	議場コンサート(大牟田クラシックギター愛好会　クラシックギター演奏)	R8年3月28日(土)	71
大牟田市役所庁舎内	押し花作品展示（押花の会、杉野　宣雄さん）	R8年3月28日(土)	－

（4）トップアーティスト招聘＆交流事業

大牟田市文化振興財団主催のこども音劇「星の王子さま」において、大牟田市トップアーティスト招聘＆交流事業実行委員会が共催し、大人気声優の梶裕貴さん等が出演するコンサートを開催するとともに、出演俳優による子ども向けの演劇ワークショップを実施しました。

と　き　Ｒ８年２月２８日（土）
内　容　生演奏と朗読によるコンサート・出演者による演劇ワークショップ
ところ　大牟田文化会館大ホール(ワークショップは１階リハーサル室)
観覧者　９０５人
無料招待枠観覧者　１９５人
ワークショップ参加者　１５人（小学１年生～高校３年生）

（視点３）文化芸術を活用した新たな価値や多様性の創出

文化芸術が生み出す福祉、教育などの様々な分野の価値を人づくりやまちづくりの面で活かすとともに、人々の相互理解や多様な価値観が尊重される取組を進めます。

【主な事業】

①協働のまちづくり部門(未来を紡ぐファッションショー～OMUTA コーデバトン２０２５～)

文化的処方（健康や幸福によい影響を与えるアートや文化活動、それらを活かして地域課題の解決に繋げる取組)・社会的処方の推進及び文化芸術によるまちづくり、本市のシティプロモーションに繋げる取り組みとして、地元事業所や高校、関係大学の連携のもと、高校生がデザインした装飾衣装などを高齢者や高校生が身にまとい披露するファッションショーを実施しました。

と　き　１２月２０日（土）
内　容　市内在住のアクティブシニア・誠修高等学校３年生によるステージ
ところ　イオンモール大牟田　ありあけコートステージ
出演者　５０人（アクティブシニア２５人・誠修高等学校３年生２５人）
観覧者　約３００人

②次世代育成部門（演劇ワークショップ）

演出家・脚本家として福岡県内を中心に活躍する中嶋さと氏による演劇ワークショップを実施しました。

と　き　１２月８日（月)、１２月１９日（金）
内　容　中友小学校５・６年生を対象とした演劇ワークショップ
ところ　中友小学校
参加者　４６人
講　師　劇団「ＦＯＵＲＴＥＥＮ　ＰＬＵＳ　１４+」中嶋さと氏ほか劇団メンバー３人

〇多様性を尊重した文化芸術交流事業〔生涯学習課〕

（１）障害のある人等による文化芸術活動推進事業

①未来を紡ぐファッションショー～OMUTA コーデバトン２０２５～

社会福祉協議会と連携して、認知症や身体に不自由のある方を含めた高齢者が、地元の高校生がデザインした装飾衣装を身にまとい披露するファッションショーを実施しました。

と　き　１２月２０日（土）
内　容　市内在住のアクティブシニア・誠修高等学校３年生によるステージ
ところ　イオンモール大牟田　ありあけコートステージ
出演者　５０人（アクティブシニア２５人・誠修高等学校３年生２５人）
観覧者　約３００人

②大牟田市民文化のつどいにおける障害のある人の発表枠

大牟田市民文化のつどいにおける障害のある人の発表枠において１件の申請及び採択がなされ事業が実施されました。

申請事業　第２回障害のある人の文化芸術祭
申請団体　特定非営利活動法人大牟田市障害者協議会
と　　き　Ｒ８年３月２８日（土）
と こ ろ　大牟田文化会館小ホール

（２）有明圏域定住自立圏内の市町が連携した多様な文化芸術の取組

①有明美術展

大牟田市、柳川市、みやま市、大川市、荒尾市の美術団体及び、各市町の連携により、圏域内の美術家の優れた作品を展示しました。

と　き　５月２７日（火）～６月１日（日）

ところ　大牟田文化会館　展示室他

（視点４）文化芸術活動への支援、環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援を行います。また、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について検討し、機能の充実を図ります。

【主な事業】

○文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）各種共催事業等の実施

各種文化・芸術活動に対する共催や後援

年度	R4	R5	R6	R7
件数	59	66	51	97

○文化会館施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はＳ６１年（１９８６年）に開館しました。施設の老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画等に基づき、維持補修に取り組みました。

Ｒ７年度は、外壁改修工事２期として、大・小ホール特定天井改修工事、大・小ホール非常用設備蓄電池設備更新工事、舞台吊物機構制御システム整備などを行いました。

また、Ｒ８年４月１日からネーミングライツを導入し、愛称が「デンカ大牟田文化会館」に決定しました。（愛称使用期間：令和８年４月１日～令和１３年３月３１日）

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
１年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	文化芸術振興プランに掲げる目標値を基に、80.0%以上を目指す。 ［現状値:47.3%(R4 年度実績)］
	実績値（%）	50.8	53.4				
	達成度（%）	63.5	66.8				

【指標達成度に対する要因分析】

・文化芸術事業の開催を幅広く周知するため、広報おおむたやホームページ、ＬＩＮＥ等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布･掲示し、積極的な広報を行いました。また、子ども向けの事業においては、教育委員会や各学校、子ども育成課等と連携し、対象者に応じた情報発信に努めました。
・市民が参加しやすい身近な文化芸術事業として、大牟田市民文化のつどい事業を年間で１８事業実施しました。また、大牟田市民文化のつどい事業においては、Ｒ６年度から新設した障害のある人の発表枠により、障害のある人の文化芸術祭が実施され、多様性を尊重した文化芸術活動の支援を行いました。
・第３期大牟田市文化芸術振興プランに基づき、子どもや若者の感性を育む事業やトップアーティスト招聘＆交流事業等、市民ニーズに応じた多様な事業を大牟田市文化振興財団や文化芸術団体等と連携して展開することができました。
・大牟田文化会館においては、Ｒ８年度に開館４０周年を迎えることから、Ｒ７年度においては、プレ４０周年事業に取り組みました。
・これらの取組が実績値の上昇に寄与しているものと考えられます。

【今後の方向性】

・文化芸術に触れる機会を創出し、市民が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かで持続可能な大牟田の未来を創るため、引き続き、さまざまな施策に取り組みます。特に次世代を担う人づくり及び市民の文化芸術活動の支援に力を入れることとし、子どもの頃から文化芸術に触れることができる取組を充実します。また、文化芸術団体の支援や交流、ボランティアの育成など、文化芸術活動を支える取組を進めます。
・大牟田文化会館は、施設や設備の老朽化が進んでいることから、公共施設維持管理計画や舞台設備等改修計画に基づき、確実かつ円滑な改修に向けた取組を進めます。
・世界遺産を始め、市内に所在する文化財の保存と活用を図ることで、まちの文化や歴史について市民の理解と関心を深め、郷土への愛着と誇りを育みます。また、市内外の来訪者に世界遺産の魅力を発信し、顕著な普遍的価値を広く理解してもらえるよう取り組みます。